

A市某学校

引っかけ傷法によるコンクリート強度推定結果

報 告 書

2010年10月



株式会社 構造総研

引っかけ傷法による強度推定結果報告書

試験番号： 2010 GRS - 001 号
 受付日： 2010 年 9 月 25 日

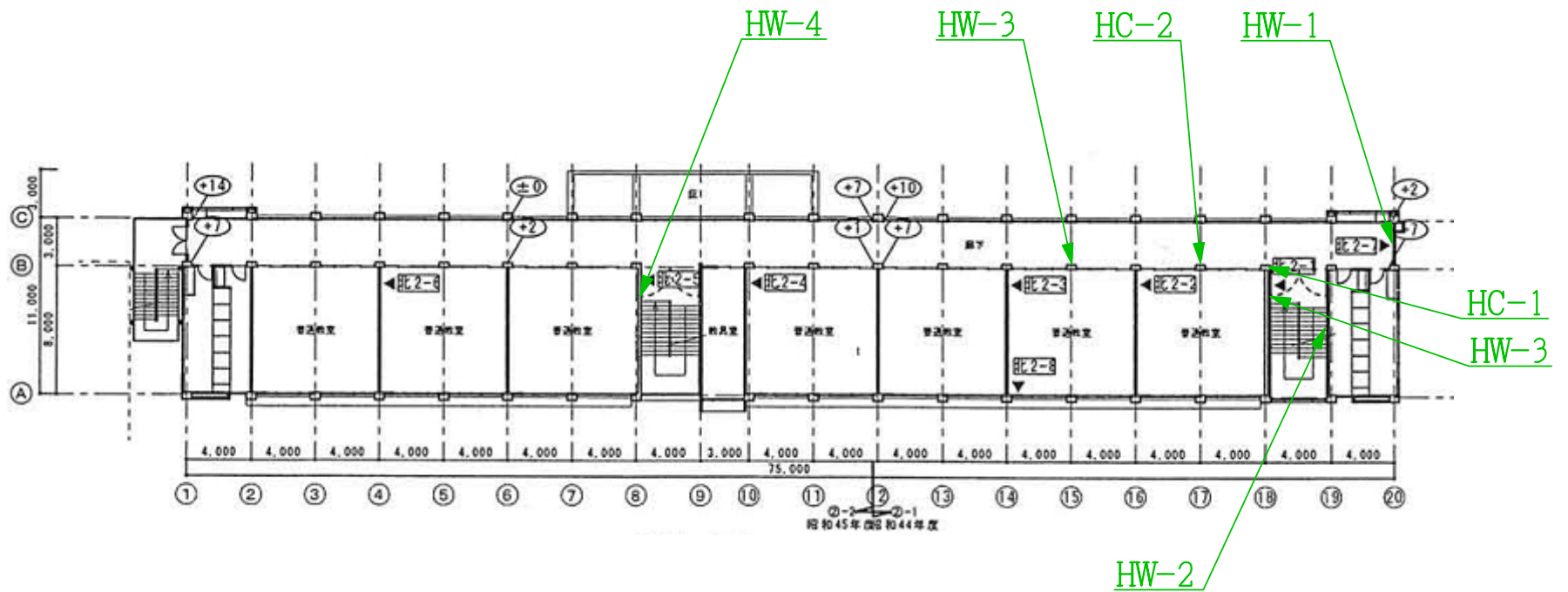
A市教育委員会事務局施設課 殿

株式会社 構造総研
 〒542-0012
 大阪市中央区谷町9丁目2番29号
 TEL:06-6767-8941 FAX:06-6767-8940

ご依頼者名	A市教育委員会事務局施設課
依頼者住所	A市
調査名	A市立某学校コンクリート調査
対象物名称	A市立某学校
構造・規模	鉄筋コンクリート造・地下-階、地上4階、塔屋1階・延床面積3,356m ²
試験の目的	1.耐震診断 2.その他()
供試体名称	-1棟 2階柱(HC-2、HC-3)・2階壁(HW-2、HW-3)、 -2棟 2階壁(HW-4)
試験体	1. 10 cm 2. 8 cm 3. その他(コンクリート躯体表面 cm)
建設年月日	1970 年 3 月 - 日
コア採取日	- 年 - 月 - 日
設計基準強度	- kg/cm ² ・ N/mm ²
その他	HC-1, HW-1は試験面の凹凸が著しく、試験不能であった

引っかけ傷法による強度推定結果

試験日	2010 年 9 月 25 日				解析日	2010 年 10 月 1 日				報告日	2010 年 10 月 14 日			
供試体番号	測定値 (mm)				平均傷幅 (mm)	推定強度 (N/mm ²)	備考							
	測定位置 1	2	3	4										
HC-2	0.95	0.79	0.84	---	0.86	14								
HC-3	0.87	1.11	0.87	---	0.95	12.3								
HW-2	1.08	1.03	1.03	---	1.05	10.5								
HW-3	0.71	0.89	0.74	---	0.78	15N/mm ² 以上								
HW-4	0.58	0.66	0.47	---	0.57	15N/mm ² 以上								
-----	---	---	---	---	---	---								
試験概要	(1) 引っかい太郎(針圧 9.8N)によりコンクリート表面研磨面に引っかけ傷を3箇所付け、各引っかけ傷のモルタル部の内、適当な 8 mm を傷幅測定器(測ってみタロー)にて測定(0.02mmピッチ)した。 (引っかけ傷は上から下へ3箇所(測定位置1~3)付けた。) (2) 強度推定式は $F_c = -18.3D + 29.7$ を採用した。 (F_c : 推定強度、 D : 平均傷幅) (3) 15N/mm ² 以上の強度を有するコンクリートについては、本試験摘要外。													
試験管理者	技術開発室					E-mail	info@kozosoken.co.jp							



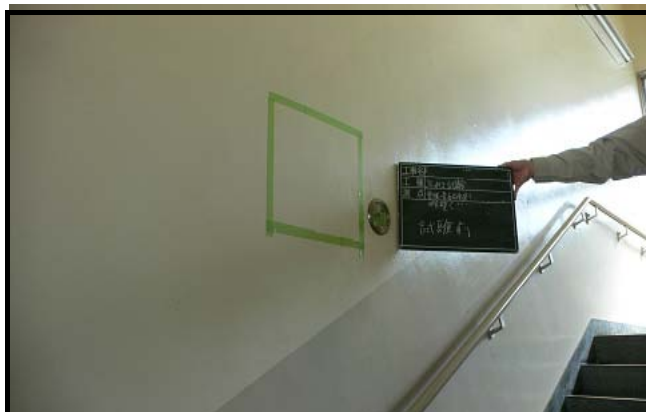
2階平面図

- 凡例
- HC-O: 柱の引っかかり試験位置
 - HW-O: 壁の引っかかり試験位置

記事	年月日		作成年月日	建物名称
			年月日	A市某学校
			縮尺	図面名称
				調査位置図

記 録 写 真

建物名称：A市某学校



写真No. 1 (写真向き ↑)
引っかけ傷法
壁
仕上げ材撤去前



写真No. 4 (写真向き ↑)
引っかけ傷法
壁
『測ってみタロー』による引っかけ傷幅測定状況



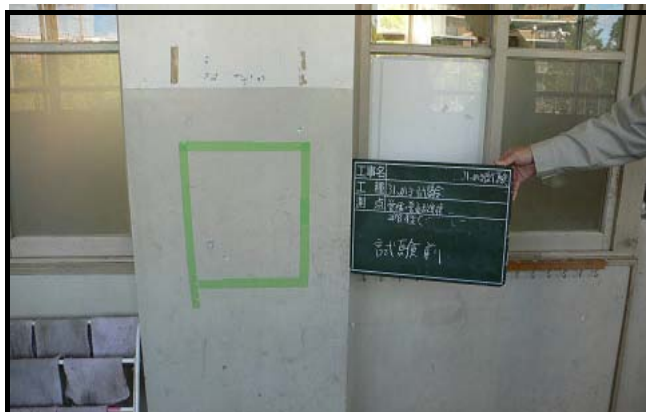
写真No. 2 (写真向き ↑)
引っかけ傷法
壁
仕上げ材撤去後



写真No. 3 (写真向き ↑)
引っかけ傷法
壁
『引っかい太郎』による引っかけ試験状況

記 録 写 真

建物名称 : A 市某学校



写真No. 5 (写真向き ↑)
引っかけ傷法
柱
仕上げ材撤去前



写真No. 8 (写真向き ↑)
引っかけ傷法
柱
『測ってみタロー』による引っかけ傷幅測定状況



写真No. 6 (写真向き ↑)
引っかけ傷法
柱
仕上げ材撤去後



写真No. 7 (写真向き ↑)
引っかけ傷法
柱
『引っかい太郎』による引っかけ試験状況